

「技術者倫理」の授業計画

毎週火曜日の1限目（8：50～10：20） 視聴覚ホール

講義日	授業内容	週ごとの到達目標
1 09/19 (金)	講義の概要説明 技術者の倫理的責任と行動する倫理 組織の倫理	シラバスの説明。法とモラル、技術者倫理とは何か等について理解する。専門職業人としての技術者の役割や技術者の責任について理解する。
2 09/30	なぜ技術者の倫理なのか 事故から安全文化の展開	公衆の安全、健康、および福利を最優先とする技術者倫理を理解し、事故から育った安全文化を理解する。福島原子力事故の構造を考える。
3 10/07	安全確保の行動の枠組み 安全文化 安全工学	安全文化の枠組みやモデルから、安全文化の考え方を理解する。また、安全工学の考え方を理解し、公衆を災害から救う手立てを考える。
4 10/14	技術者の資格 事故責任の法の仕組み	技術者資格の仕組みや制度を理解する。また、事故責任の法の仕組みについて PL 法を中心に理解する。費用便益分析について考える。
5 10/21	法的責任とモラル責任	法的責任とモラル責任について理解し、法とモラルの境界域の責任について考える。カネミ油症事件から被害者救済を考える。
6 11/04	コンプライアンスと規制行政	コンプライアンスと規制行政について理解し、安全確保のための規制行政について考える。福島原子力事故後の規制改革について考える。
7 11/11	説明責任	説明責任と信頼関係の構築について理解し、原子力発電、発がん生物質の安全性、遺伝子組み換え食品等の事例からリスクコミュニケーションを考える。
8 11/25	公益通報（内部告発）	公益通報（内部告発）の仕組みを理解し、技術者の内部告発と法による救済の方法を考える。教材のギルベイン・ゴールドで内部通報について考える。
9 12/09	環境と技術者 技術者の財産的権利 技術者の国際関係	環境倫理への道程、持続可能性や世代間倫理について理解し、循環型社会の構築について考える。また、技術者の知的財産や国際規格等について考える。
10 12/16	発表	これまでに企業等へ送った手紙とその回答文について発表する。